opusdei.org

仕事依存症とキリス ト教的な仕事の意味

2025/01/27

労働者聖ヨセフの祝日に、教皇フランシスコは次のように述べました。

「すべての人が仕事に恵まれ、公正 な報酬を受け、仕事の尊厳と休息の 大切さを味わえるように」
団。仕事 は、人間にとって最初の召命です。 「什事は人間の尊厳を表し、それを 育むものでもあります。仕事を通じ て人々は、神から授けられた能力を 発揮し、互いに助け合いながら豊か な関係を築くことができます。さら に、神とともにこの世界を大切に し、より良くする協力者となり、社 会に貢献していると感じ、愛する 人々とのつながりを深めることが可 能になるのです | [2]。

仕事の尊厳は、まず休息の重要性と 密接に結びついています。弟子たち が最初の宣教の日々を終え、奇跡を 喜んでいるとき、イエスはこう言い ました。「あなたがただけで人里離 れた所へ行き、しばらく休みなさ い」(マルコ6・31)。「彼は弟子た ちを褒めたり、質問したりするので はなく、彼らの肉体的、内面的な疲 労を気遣いました。なぜでのなたちいまいまの私たちかの危険になったのを見になるをしたのの危険になったが事を、信があるではないの危険になっまりである。といるではないまり、ようにはないまが振ったがしている。私のではないまでない。私のではいっている。ないはいかにはいる。ないます」[3]。

なるでしょう。そして人生のすべての良きものの価値を見いだすことができるのです」[4]。

仕事への依存

勤勉に働くことと仕事に依存することには、大きな違いがあります。時には、誰もが望む以上に多くの時間や労力を仕事に費やすことがありえます。その結果、家族や愛する人々

との時間や休息の時間が減少することもあるでしょう。たとえば、新いままを始める際には、最初はほがあるではないの時間を費やす必要があるがあるで良い印象を与えるために長時間働くこともあるでしょう。これらの状況は例外的なものであり、誰ものでより、は例外的なものであり、誰もです。

しかし、「ワーカホリック」と呼ばれる人々は、常にこのような生活らというな生がられる手段として利用します。長存しますとが必ずしも「仕事依存」とが必ずしますとが必ずします。では2台目の正は2台目のます。とは異なるものには異なるものではなります。

しかし、もし友人や家族から「仕事にかかりきりで私たちをないがしろにしている」と指摘されたり、人との親密な関係性や社会的関係を避けるために仕事を利用したりしていると気づいた場合には、自分の生活をじっくりと見直す必要があるかもしれません[6]。

仕事依存症は容易に周囲に伝染し、 職場の人々の健康や幸福、そして調 和の取れた家庭生活を危険にさらします。極端な場合には、強迫性障害に発展し、専門家の治療が必要になることもあります。この問題に直面している人々は、自分の人生の本当の目標を見直し、仕事以外に存在する人生のさまざまな要素の価値について深く考える必要があります。

職業活動の人間的およびキリス ト教的価値

仕事の人間的およびキリスト教的価値について深く考えることは、非常 を意義深いことです。専門職や、若 者にとっての学業や職業訓練は、 日々の中で最も多くの時間を占める 活動です。聖ホセマリアは、ある説 教の中で次のように述べています。 「仕事、すべての仕事は、人間の事 厳と創造物に対する支配の証です。 それは人格を成長させる機会であ

り、他者との結びつきを深める絆で あり、家族を支える手段であり、私 たちが生きている社会の改善や人類 全体の進歩を助ける手段でもありま す | [77]。

なぜ人間は働く必要があるのか、そ のことを人間学的に考えると、その 答えは非常に奥深いものがありま す。失業は、仮に経済的困難を伴わ ない場合であっても、人間に深刻な 影響を及ぼします。教皇フランシス コはこう語っています。「私は仕事 の尊厳について語ることを決してや めません。仕事こそが人に尊厳を与 えるのです。仕事がない人は、自分 の人生に何かが欠けていると感じま す。それは、仕事が与える尊厳、す なわち『什事によって尊厳の油が注 がれる』という感覚を失うからで す | f87。

仕事には、人間的および社会的価値 だけでなく、形而上学的にも倫理的 にも深い意義があります。創造とい う形而上学的観点から見ると、仕事

は神から与えられた、世界の創造と 構築に参加する機会にほかなりませ んぽ。それは人間の尊厳の証であ り、また、神が一人ひとりの人間を 信頼していることの表れでもありま す。キリスト教徒にとって仕事は、 聖化と使徒職の手段でもあります。 仕事を通じて、神は私たちを聖化 し、同時に神の愛を世界に伝える手 段とします「エロロ」。私たちは、神が一人 ひとりに注ぐ愛と配慮を具体的なか たちで表し、他者の什事を通してそ の愛と配慮を受け取ることができま す。すなわち、神は他の人々を介し てその贈り物を授けたいと望んでお られるのです。これがすべての仕事 におけるキリスト教的な意味であ り、私たちが互いに依存し合う理由 でもあります。

倫理的観点から見ると、仕事はほぼすべての人間徳が関わる活動です。 「避けがたい困難の中でも仕事を続け不安に打ちのめされることなく立 ち向かう剛毅、快適さや自己中心的な傾向を克服し惜しみなく働くための節制、神や社会、家族、同僚に対する義務を果たすための正義、そしてその場に応じてどのような進路を取るべきかを知り、ためらうことなく取り組むための賢明」[171]。

社会的および政治的徳もここでは重要です。仕事は、経済的および社会的発展の源となる一方で、人が人を搾取する手段ともなりうるからです。

仕事の倫理的価値

仕事の倫理的重要性は、次の言葉に 集約されます。「仕事の尊厳は愛に 基づいています。人間の大きな特権 は、愛することができ、儚く過ぎ者 るものを超越できることです。人間 は他の人々を愛し、あなたとか私と か、互いに呼び合うことができる です。そして神を愛することもでき ます。(…) それゆえ、人間は物質的な生産だけに自分を限定するべきではありません。仕事は愛から生まれ、愛を表現するものであり、愛に向かって進むものです」[12]。

正しい方向性を持つ仕事は、各人の 人生における愛と自己超越を表現す る重要な方法の一つです。愛と自己 超越は、仕事の最も深い尊厳の源で あり、それを律するための鍵ともな ります。仕事の倫理的側面として特 に重要なのは、それぞれ密接に関連 する次の三点です。

- 1) 仕事の量と質
- 2) 仕事をする理由
- 3) 他の形態の愛や自己超越との調和

正義は、公正な雇用契約に定められ た時間内において、適切な強度で可 能な限りの完全性を追求して働くこ とを要求します。自営業の場合、勤 勉という倫理徳に基づき、職務の特性や個人的な状況、さらに必要に応じて適用される法律規定を考慮しながら、適切な作業時間が決定されます。

働く理由として、たとえば「他に選択肢がないから」というのは不十分であり、不適切でもあります。いやいや働き、最低限の努力しか払わな

いような態度では、欠陥が生ずる恐れがあります。特に医療分野などでは、このような態度が他者に深刻な影響を及ぼすことがあります。

また、自己肯定のために仕事をする ことも、正しい動機とは言えません。さらに、自分の才能と能力のより優位に立し、 はらかし、他者より優位に立し、 を目かる力を得るための仕事なのも を配する力を得るがら逃れる手段とこちる いは他の義務から逃れる手段とこれらの です。の理由で働くことは、仕事をしまる の理由で領域から切り離してられるです。 の己超越のす。

仕事が自己超越の表現ではなく、自己肯定や自己満足の手段となれば、 仕事自体が目的となってしまいます。その場合、家族や友人、社会的 関係、宗教的義務といった、愛や自己超越を表現すべき人生の他の領域 との調和が困難になり、さらには不

可能になるでしょう。教皇フランシ スコはこう述べています。「真に発 展した社会では、就労は社会生活に 欠かせない側面です。食べていくた めの手段であるだけでなく、個人の 成長、健全な関係の構築、自己の表 現、恵みの分かち合い、よりよい世 界を築く共同責任の自覚、そしてつ まるところ、民として生きるための 手段でもあるからです | 「」」。これら すべての側面を個人に調和的に統合 する単一の方法は存在しません。個 人の状況や召命の多様性によって、 倫理的に正しい解決策がそれぞれ異 なるからです。しかし、人間の存在 の基本的な側面のいずれも犠牲にす ることなく、調和的な統合を目指す ことが重要です。

職業としての仕事は、多くの時間と エネルギーを必要とするため、個人 の生活における他の重要な側面との 調和を乱す原因とならないよう、常 に注意を払う必要があります。結局 のところ、仕事の方向性と倫理的価値を最終的に決定するのは、「愛と自己献身に心を向けるか」または「自己中心的な姿勢に陥り、自己に執着するか」の選択にかかっています。

[1] フランシスコ、サンタ・マルタ でのミサ、2020年5月1日。

- [2] フランシスコ、イデア財団 (ジュネーブに本部を置く非営利組 織) 第57回年次会議向けビデオメッ セージ、2021年10月13日。
- [3] フランシスコ、「お告げの祈り」でのことば、2021年7月18日。
- [4] フランシスコ、一般謁見演説、 2018年9月5日。
- [5] ウェイン・オーツによる造語、 『ワーカホリック一働き中毒患者の 告白』ワールド出版社、1971年(邦 訳:日本生産性本部、1972年)。
- [6] ブライアン・E・ロビンソン『デスクに縛られて:ワーカホリック、そのパートナーと子ども、そして治療にあたる臨床医のためのガイドブック』序文、4-5ページ、ニューヨーク大学出版、2011年(未邦訳)参照。

- <u>[7]</u> 聖ホセマリア『知識の香』47番。
- [8] フランシスコ、イデア財団第57 回年次会議向けビデオメッセージ、 2021年10月13日。
- [9] 同および聖ホセマリア『神の朋友』57番参照。
- [10] 「ここまで考えると、次の話がとよく分かるのではな変さないでさなたのではないの話があるの仕事を受するの仕事をするのは、聖化は事になりはは出ました。これば、真剣にはいりはは事には、あるいはは事なられば、重要がははは事なられば、事がないないないないないないないないないないないでもないないでもないでもないであるがでいる。うれば、聖ホセマリア『神の朋友』第58番)。

<u>[11]</u> 聖ホセマリア『神の朋友』72 番。

[12] 聖ホセマリア『知識の香』48-49番。トマス・メレンド『労働の尊厳』リアルプ社、マドリード、1992年(未邦訳)参照。

[13] フランシスコ、回勅『兄弟の皆 さん』162番。

Ángel Rodríguez Luño

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/shigoto-izon-shigoto-imi/ (2025/11/06)